

平成 2 8 年

第 1 2 回那須塩原市教育委員会

会議録

那須塩原市教育委員会

〔○期日：平成 2 8 年 1 0 月 2 7 日
○会場：鍋掛公民館 会議室〕

那須塩原市教育委員会定例会

1 期日

- 平成28年10月27日（木）
 - ・開会：午後 3時00分
 - ・閉会：午後 4時28分

2 会場

- 鍋掛公民館 会議室

3 出席委員

- 委員 神島 仁誓
- 委員 大澤 真弓
- 委員 臼井 祥朗
- 委員 田村 伸之
- 委員（教育長） 大宮司 敏夫

※前回会議録署名委員

- ・臼井 祥朗 委員
- ・田村 伸之 委員

4 説明のため出席した事務局職員

- 教育部長 伴内 照和
- 教育総務課長 富山 芳男
- 学校教育課長 伴 真貴子
- 生涯学習課長 久保 周二
- スポーツ振興課長 後藤 修

5 事務局職員

- 教育総務課長補佐 広瀬 範道
- 教育総務課総務係長 東泉 秀幸
- 教育総務課総務係 寺崎 奈穂子

6 傍聴人

- 1人

付議事件

議案番号	件 名	主 管
議案第 1 号	新教育委員会制度（新教育長）への移行に伴う所要の例規の整備について	教育総務課
報告第 1 号	区域外就学及び指定校変更について	学校教育課
報告第 2 号	平成 2 8 年度準要保護児童生徒の認定について	学校教育課

■会議録

1 開会

- 午後3時00分、神島委員長が平成28年絵第12回那須塩原市教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 委員長挨拶

○神島委員長

それでは、平成28年第12回那須塩原市教育委員会定例会の開会を宣言いたします。

寒暖の差が激しい今日この頃ですが、皆様、お風邪などお引きにならないように御自愛いただけきたいと思います。

小中学校は、もう2週間前くらいになるでしょうか、前期が修了し、後期の始業式があり、新しい学期を迎えたということで、勉学に運動に励む季節になって参りました。

過日は、オーストリアに中学生を38名派遣し、7名の引率者とともに無事に帰ってきたということでございました。私もホームページにアップされた写真などを楽しく拝見したところでございます。

また、西那須野の産業文化祭、黒磯の巻狩まつりや公民館の催し物など、イベントの多い季節にもなっておりまして。

10月7日には、那須市町の教育委員会の連合会の総会があり、そのあと、研修会や懇親会などもございまして、皆様にも御出席いただき、他市町の教育委員さんとも親交を深めてまいったところでございます。

これからの予定でございますが、11月1日には小学校の音楽発表会、11月3日にはマラソン大会、その後には、なしお博など、いろいろと行事が目白押しというところでございます。

それから、中学校の合唱部の全国大会が高松で行われ、本市から三島中学校と黒磯北中学校が同声の部、混声の部でそれぞれ出場するというところで、その活躍が期待されるところでございます。

また、学び創造プロジェクトには、大澤委員と私とで参加をするということになってございます。

さて、前回の第11回定例会でございますが、9月29日に開催し、一般会計歳入歳出決算などについて、御審議をいただいたところでございました。

本日は、教育長が来年の３月２３日で任期満了を迎えるということで、新教育委員会制度への移行に伴う例規の整備ということがメインの議題となっているところでございます。円滑な議事進行に皆様、御協力いただければと思っております。

それでは、平成２８年第１２回那須塩原市教育委員会定例会を開会いたします。

３ 会議録の承認

- 神島委員長が前回会議録の承認を求めたところ、内容に異議なく臼井委員及び田村委員が指名され、会議録に署名を行った。

４ 教育長報告

○神島委員長

続きまして、次第４「教育長報告」でございますが、ここで皆さんにお諮りいたします。次第４の教育長報告につきましては、特定の個人に関する情報が含まれておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第７項ただし書の規定に基づき、非公開といたしたいと思っております。なお、非公開とする際は、出席委員の３分の２以上の賛成が必要となりますが、非公開とすることに御異議ございませんでしょうか。

○全委員

異議ありません。

○神島委員長

それでは、全会一致でございますので、教育長報告は非公開とすることに決定いたしました。

(省略～非公開)

(教育長報告終了)

５ 付議事件

<議案第１号について>

○神島委員長

それでは、次第５「付議事件」に入ります。はじめに議案第１号「新教育委員会制度（新教育長）への移行に伴う所要の例規の整備について」事務局の説明を求めます。
はい、教育総務課長どうぞ。

○教育総務課長

－資料に基づき議案の内容を説明－

○神島委員長

事務局からの説明が終わりました。委員の皆さんから、御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

はい。数年前、大津の生徒が自殺をし、そこから端を発して、戦後ずっと続いてきた教育委員会制度の改革ということで、今回、このような新教育委員会制度ができてきたというように理解しております。ここ数年、教育委員も、私ども教育委員会や、また連合会でも勉強会なども持ちまして、随分と知識も深めてきたつもりですが、それが段々と、現実になってくるのかなというような思いでございます。すでに大田原市のように新教育委員会制度になっているところもございますし、那須町のように、来春以降もまだ旧制度が続くなんていうところもあるようでございます。今までも教育長が常勤として、采配を振るって来たところがありましたので、中身はあまり変わらないかなと思ってございます。現状に法律があつて来たのかなというような思いがでございます。是非、リーダーシップを発揮していただいて、教育委員も教育長を助けながら、また、教育委員は、民間人でもありますので、馴れ合いにならないよう、教育委員会の施策のチェック機能として、頑張っていかなければなと思ってございます。

なお、本議案については、3月議会に提案することになるのでしょうか。

○神島委員長

はい、教育総務課長、どうぞ。

○教育総務課長

はい。12月議会に提案いたします。

○神島委員長

ほかにいかがでしょうか。ございませんか。

○全委員

ありません。

○神島委員長

それでは、議案第1号については、原案どおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

○全委員

ありません。

○神島委員長

それでは、原案どおり可決いたします。

＜報告第 1 号について及び報告第 2 号について＞

○神島委員長

それでは続きまして、報告第 1 号「区域外就学及び指定校変更について」並びに報告第 2 号「平成 28 年度準要保護児童生徒の認定について」、一括して事務局から説明を求めます。

はい、学校教育課長

○学校教育課長

－資料に基づき報告事項の内容を説明－

○神島委員長

はい。事務局の説明が終わりました。皆様から御質問、意見等ありましたら、お願いいたします。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

はい。区域外就学のその他のところで、震災避難で 1 件ということですが、参考までに、どちらからお越しになられた方なののでしょうか。本当に震災にあった方なのか、或いは、一度避難していた所から、また避難してきたという方なのか、というようなことなのですが。

○神島委員長

はい、学校教育課長

○学校教育課長

一度避難していた所から、避難してきた方になります。

○神島委員長

ほかにいかがでしょうか。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

はい。小規模特認校について、来春の入学希望 4 名でできたということで、大貫と波立と青木と高林ということで、それぞれ理由があると思うのですが、親御さんの勤めとの関係でということなのか、それとも、学校の特色に惹かれてということなのか、教えていただければと思います。

○神島委員長

はい、学校教育課長

○学校教育課長

はい。あくまでも小規模特認校というのは、小規模校ならではの良さを活かした教育を行い、それが自分の子どもの教育にとって良いと判断された親御さんがこの制度を使って入学させるということになります。ただ、親御さんが自分の出身校であったり、親戚がいたりとその地域性もよくわかっていてというプラスアルファがついている方も中にはいらっしゃいます。

○神島委員長

はい、臼井委員

○臼井委員

はい。以前、伺ったときには、この制度を利用している方が40人程度いらっしゃるというようにお聞きしていました。それからまた増えているので、トータルで50人近くいるのではないかなと思います。制度の主旨を汲み取り、小さな学校の良さを認めていただいているのはありがたいなと思っております。こうした学校もそれぞれ工夫を凝らし、PRなどもしているようで、良いことだなと思っております。

また、準要保護について、その数が多くなっているようですが、困っている方を公が助けるのは良いことだなと思っております。最近、新聞やマスコミでも貧困という言葉を目にすることがあるのですが、那須塩原市でもそのような現状があるのかなと思います。家庭教育のゆがみや子ども同士のトラブルなどといったことの根底に貧困の問題が入ってきてしまうと困るなと思ってしています。少しでも手助けができれば良いのかなと思ってございます。

○神島委員長

ほかにいかがでしょうか。はい、大澤委員どうぞ。

○大澤委員

はい。指定校変更のところで、日本語教育のある学校への変更がありました。専門的に学ぶことができる日本語教室のある学校に行きたいという要望が叶えられるのはとても良いことだなと思いますが、一方で、その学校側に過度の負担がいていなければ良いなという心配も少なからずしています。学校訪問の時にも、そのような話を少し伺いましたので、そのあたりについて、事務局の方でもケアしていただければと思います。

○神島委員長

ほかにいかがでしょうか。ございませんか。

○全委員

ありません。

○神島委員長

それでは、以上をもちまして、本日の付議事件は全て終了いたします。